

令和5年度山梨大学秋季学位記授与式 式辞

本日ここに、山梨大学から、晴れて学士の学位を授与された12名の皆さん、修士の学位を授与された13名の皆さん、そして博士の学位を授与された18名の皆さん、誠にありがとうございます。

山梨大学の教職員を代表いたしまして、心よりお祝いを申し上げます。

これまでの皆さんのご努力に敬意を表しますとともに、皆さんを支えてこられたご家族及び関係者の皆様にも祝意を表したいと存じます。

山梨大学のルーツは約230年前の1795年（寛政7年）に、徳川幕府昌平黌の分校として設立された「徽典館」まで遡ることができます。

そして現在の山梨大学は、2002年（平成14年）に、旧山梨大学と山梨医科大学が国立大学では全国で初めて統合し、誕生した大学であります。

大学院は、大学統合を機に学部を横断した体制を整備し、現在は医工農学総合教育部として活動しています。

「地域の中核、世界の人材」をキャッチフレーズに、大学統合の際に掲げた『諸学融合』という精神のもと、機動性を活かし、全学一体で多様な教育・研究に取り組んでおります。

山梨大学が力を入れている教育面の取組みは、「何を学び、身に付けることができるのか」を明らかにした上で、学修者が主体的に学ぶことができるよう、学生本位の教育を目指した改革を進めています。そのためにDXやAIといった先端デジタル技術を活用し、学修面、生活面、及び進路面でのサポートに力を入れています。

研究面での特色ある取組みとしては、カーボンニュートラルを目指すクリーンエネルギー、山梨の地理的要因から育まれたワイン科学、世界トップレベルの発酵工学、先端脳科学や最先端の臨床研究で成果を挙げています。

さて私たちはいま、刻々と変化する世界に足を踏みいれています。現代社会においては、地政学的な紛争、地球温暖化、貧困、社会的不平等、エネルギー危機など、多くの地球規模の課題が存在します。これらの課題の克服は簡単なことではありません。そして課題の解決には長い年月を要することを考えます。

私は、本日、学位記を授与された皆さんに、先に挙げた現代社会の課題解決に向け、自らがどのような目標に向かって進むべきかを考え、その目標に向かって主体的に行動できる人間力を、是非とも身に付けてほしいと考えます。

皆さんは、これから社会の様々な場に旅立ちます。学位の授与は、到達点ではなく、新たな出発点です。これまで山梨大学において培われた力を遺憾なく発揮されて活躍されることを心より期待

し、そして応援いたします。

本日は、21名の留学生の皆さんが、修士及び博士の学位を授与されています。ここで、留学生の皆さんに敬意を表し、英語でのスピーチをさせていただきます。

Today, 21 international students were awarded master's and doctoral degrees. I would like to express my respect for all of our international students here, and I'm honored to deliver this speech in English.

Congratulations to all the international students on receiving their master's and doctoral degrees. On behalf of the faculty and staff of the University of Yamanashi, I would like to extend my heartfelt congratulations.

Each one of you has left your homeland and overcome the barriers of language, culture, and customs to complete your studies at the University of Yamanashi.

I would also like to express my respect for your efforts so far, and congratulate your families and everyone involved who have supported you.

Well, we are now stepping into a world that is changing every moment. Modern society faces many global challenges, such as geopolitical conflicts, global warming, poverty, social inequality, and the energy crisis, and more. Overcoming these challenges will not be easy, and it will require a significant amount of time to find the solution.

I would like to encourage all of you, who received your diplomas today, to think about what goals you should move towards in order to solve the problems of modern society mentioned earlier, and to take proactive action towards those goals. I hope that you will enhance your capabilities as individuals who can contribute to their resolution.

From now on, you will depart for various places in society. Receiving your degrees is not a destination but a new beginning. We sincerely hope that you will make full use of the skills you have cultivated during your time at the University of Yamanashi. We will support you and wish you all the best in your future endeavors.

結びに、本日山梨大学を卒業、終了される皆さんに、あらためて心からお祝いを申し上げ、私からの式辞といたします。

本日は、誠におめでとうございます。

令和 5年 9月 26日
山梨大学長 中村和彦